

| | |
|----------|----------------------|
| 病院名・診療科等 | 総合南東北病院(消化器内科・外科コース) |
| 担当責任者 | 佐久間 秀夫 |

| 概要／方針等 | |
|--|---|
| <p>総合南東北病院は「すべては患者さんのために」の理念のもと、福島県中地区の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。最新機器・設備を駆使した高度先進医療を提供しており、外来患者・救急患者・検査・手術症例数は県内トップクラスの実績を誇っています。さらに、熱心な指導医が多数在籍し、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気があるのも当院の特徴のひとつです。</p> <p>当院の消化器内科では、消化器癌の診断・治療という専門的な分野はもちろん、内科全般を総合診療として両立させることを目標として診療にあたっています。また外科では、悪性腫瘍など多数の症例を経験することができます。さまざまな現場での経験を通し、臨床力のつく実習を提供します。</p> | |
| 学習目標 | |
| 【一般目標】 | |
| 市中病院で行われている地域医療・チーム医療の現場を、各科の指導医や研修医、コ・メディカルとともに体験する。 | |
| 【行動目標】 | |
| ＜消化器内科＞ | |
| 1. 医療全般の中で消化器内科が果たすべき役割を理解する。 | |
| 2. 消化器疾患の診断・治療体系を理解する。 | |
| 3. 内科治療の基本を理解する。 | |
| 4. 入院患者さんとのコミュニケーションのとり方を理解する。 | |
| ＜外科＞ | |
| 1. 腹部症状の診察・診断ができるようにする。 | |
| 2. 緊急手術が必要な急性腹症の患者を診療し、その病態を理解する。 | |
| 3. 手術患者の術前・術後管理に参加し、患者の病状把握ができるようにする。 | |
| 4. 手術(消化管・肝胆膵の悪性腫瘍)に参加し、その手順を理解する。 | |
| 5. 病棟他職種カンファレンスに実際に参加し、チーム医療について学ぶ。 | |
| 6. 末期癌患者にかかわり、疼痛コントロールや心のケアなどの終末期医療について学ぶ。 | |
| テキスト | 特にありません。 |
| 参考書 | 特にありません。 |
| 評価方法 | 実習態度・レポート提出・指導医や研修医とのディスカッション等により総合的に評価する。 |
| その他(メッセージ等) | 原則、各科1週ずつの実習となります。 無料宿舎・実習期間中の食事の無料提供あり。実習前に希望されるか確認します。 |

| 実習計画／担当指導医等 | |
|--|--|
| 【実習計画】 | |
| 朝開始時刻 8:30(希望があれば、下記にある早朝からの病棟回診・カンファレンス等から参加可能) | |
| ※月～8:30～全体朝礼、水・金～7:55～全体カンファレンスに参加していただきます。 | |
| 終了時刻 おおよそ17:30～18:00 | |
| ＜消化器内科＞ | |
| (月)・(水)・(金)午前一回診・外来、午後一検査 | |
| (火)・(木)午前一回診・内視鏡、午後一検査 | |
| * 夕方に、人体モデルを用いた内視鏡のトレーニングを行います。 | |
| ＜外科＞ | |
| (月)7:30～回診、外来・手術・病棟処置回診・救急外来対応、ター回診 | |
| (火)7:30～回診、8:00～カンファレンス、外来・手術・病棟処置回診・救急外来対応、ター回診 | |
| (水)7:30～回診、外来・手術・病棟処置回診・救急外来対応、ター回診、17:30～外科内科症例カンファレンス | |
| (木)7:30～回診、7:55～病棟多職種カンファレンス、外来・手術・病棟処置回診・救急外来対応、ター回診 | |
| (金)7:30～回診、外来・手術・病棟処置回診・救急外来対応、ター回診 | |
| * 消化器疾患(主に悪性腫瘍)患者の術前・術後の管理を含めて、病棟回診・手術が主な実習となりますが、外来や救急外来対応にも積極的に参加してもらうことができます。 | |
| * 自身で患者を診ることで外科的救急疾患の具体的な流れがわかり、臨床力がつきます。 | |
| 【実習担当指導医】 | |
| 西野 徳之／消化器センター センター長 | |
| 高野 祥直／外科 科長 | |

| | |
|----------|-------------------------|
| 病院名・診療科等 | 総合南東北病院(循環器科・心臓血管外科コース) |
| 担当責任者 | 佐久間 秀夫 |

概要／方針等

総合南東北病院は「すべては患者さんのために」の理念のもと、福島県中地区の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。最新機器・設備を駆使した高度先進医療を提供しており、外来患者・救急患者・検査・手術症例数は県内トップクラスの実績を誇っています。さらに、熱心な指導医が多数在籍し、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気があるのも当院の特徴のひとつです。

当院の循環器科では、循環器全般、特に不整脈関連に力を入れています。また、心臓血管外科については手術症例数が毎年350例以上あり、東北トップクラスといえます。先天性心疾患を含むほぼ全ての心臓血管疾患をカバーし、大動脈瘤ステントグラフト治療では東北初の植え込みを行いました。さまざまな現場での経験を通し、臨床力のつく実習を提供します。

学習目標

| | |
|---------------|--|
| 【一般目標】 | 市中病院で行われている地域医療・チーム医療の現場を、各科の指導医や研修医、コ・メディカルとともに体験する。 |
| 【行動目標】 | |
| <循環器科> | 1. 循環器診察の技術を身につけることができる。 2. 循環器疾患の診断と治療ができる。 3. 内科一般の診断と治療ができる。 4. 患者の社会的背景を把握し、適した社会福祉サービスを提供することができる。 |
| <心臓血管外科> | 1. 病棟回診・手術などすべての業務を体験する。 2. カンファレンスに参加し、疾患や治療の考え方を学ぶ。 3. 意欲があれば症例報告も実施する。 |
| テキスト | 特にありません。 |
| 参考書 | 特にありません。 |
| 評価方法 | 実習態度・レポート提出・指導医や研修医とのディスカッション等により総合的に評価する。 |
| その他(メッセージ等) | 原則、各科1週ずつの実習となります。 無料宿舎・実習期間中の食事の無料提供あり。実習前に希望されるか確認します。 |

実習計画／担当指導医等

| |
|---|
| 【実習計画】 |
| 朝開始時刻 8:30(希望があれば、下記にある早朝からの病棟回診・カンファレンス等から参加可能) ※月-8:30~全体朝礼、水・金-7:55~全体カンファレンスに参加していただきます。 終了時刻 おおよそ17:30~18:00 |
| <循環器科> |
| (月)午前-病棟、午後-心臓カテーテル検査・治療 (火)8:00~合同カンファレンス、カンファ終了後~心臓カテーテル検査・治療 (水)病棟(心エコー) (木)午前-病棟、午後-心臓カテーテル検査・治療 (金)病棟(心臓リハビリテーション) |
| <心臓血管外科> |
| (月)午前-病棟回診、午後-関連病院の手術見学 (火)8:30~循環器合同カンファレンス、9:00~手術 (水)午前-病棟回診、11:30~手術 (木)9:00~手術 (金)9:00~手術、16:00~翌週の手術カンファレンス・抄読会 * 希望があれば、7:30~の病棟回診から参加を歓迎します。 |
| 【実習担当指導医】 |
| 小野 正博／心臓・循環器センター 副センター長 緑川 博文／心臓血管外科 成人部門 科長 |

| | |
|----------|------------------------|
| 病院名・診療科等 | 総合南東北病院(神経内科・脳神経外科コース) |
| 担当者 | 佐久間 秀夫 |

| 概要／方針等 | |
|---|---|
| <p>総合南東北病院は「すべては患者さんのために」の理念のもと、福島県中地区の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。最新機器・設備を駆使した高度先進医療を提供しており、外来患者・救急患者・検査・手術症例数は県内トップクラスの実績を誇っています。さらに、熱心な指導医が多数在籍し、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気があるのも当院の特徴のひとつです。</p> <p>当院の神経内科では、脳血管障害・髄膜炎の重症例・神経難病の急性増悪など神経救急疾患をすべて経験できます。脳神経外科については、地域の脳神経疾患の70%を当院で治療しています。日本全国でも有数の脳神経外科手術症例がありますので、脳神経系に興味のある学生には貴重な実習になることを確約します。さまざまな現場での経験を通し、臨床力のつく実習を提供します。</p> | |
| 学習目標 | |
| 【一般目標】 | |
| 市中病院で行われている地域医療・チーム医療の現場を、各科の指導医や研修医、コ・メディカルとともに体験する。 | |
| 【行動目標】 | |
| ＜神経内科＞ | |
| 1. 神経診察の技術を身につけることができる。 | |
| 2. 神経疾患の診断と治療ができる。 | |
| 3. 内科一般の診断と治療ができる。 | |
| 4. 患者の社会的背景を把握し、適した社会福祉サービスを提供することができる。 | |
| 5. 神経難病以外の疾患にも対応でき、終末期医療を体得することができる。 | |
| ＜脳神経外科＞ | |
| 1. 脳卒中鑑別診断・治療選択ができるようになる。 | |
| 2. 神経学的所見・画像所見から病態が把握できるようになる。 | |
| 3. どのような場合に脳神経外科的治療が必要になるのかを考えられるようになる。 | |
| テキスト | 特にありません。 |
| 参考書 | 特にありません。 |
| 評価方法 | 実習態度・レポート提出・指導医や研修医とのディスカッション等により総合的に評価する。 |
| その他(メッセージ等) | 原則、各科1週ずつの実習となります。 無料宿舎・実習期間中の食事の無料提供あり。実習前に希望されるか確認します。 |

| 実習計画／担当指導医等 | |
|---|--|
| 【実習計画】 | |
| 朝開始時刻 8:30(希望があれば、下記にある早朝からの病棟回診・カンファレンス等から参加可能) | |
| ※月ー8:30～全体朝礼、水・金ー7:55～全体カンファレンスに参加していただきます。 | |
| 終了時刻 おおよそ17:30～18:00 | |
| ＜神経内科＞ | |
| (月)8:00～抄読会、外来(午前)・病棟・救急対応 | |
| (火)8:00～リハビリテーション回診、外来(午前)・病棟・救急対応、16:30～回診 | |
| (水)外来(午前)・病棟・救急対応、16:00～脳卒中画像カンファレンス(脳神経外科・神経内科・放射線科合同) | |
| (木)外来(午前)・病棟・救急対応 | |
| (金)外来(午前)・病棟・救急対応、16:30～週末ミーティング | |
| * 自分の興味のある分野について、特化した勉強をすることを認めています。 | |
| 例: てんかん、認知症、脳血管内治療 | |
| * 必要時は他病院や大学で、週1回程度の外部研修を行っています。 | |
| ＜脳神経外科＞ | |
| (月)脳神経救急…救急外来・病棟での脳卒中患者診察、脳動脈瘤手術の実際 | |
| (火)脳腫瘍手術…脳腫瘍の多様性、治療目的と手術手技 | |
| (水)脳血管内治療…救急外来・病棟での患者診察、脳血管撮影の実際 | |
| (木)脳神経疾患リハビリテーション…脳神経疾患リハビリの実際、健康保険診療・介護保険の仕組みと社会保障制 | |
| (金)脳神経外科実習レポート発表・評価指導 | |
| 【実習担当指導医】 | |
| 金子 知香子／神経内科 科長 | |
| 後藤 博美／総合南東北病院 副院長 | |

| | |
|----------|-------------------------|
| 病院名・診療科等 | 総合南東北病院(整形外科・外傷センターコース) |
| 担当責任者 | 佐久間 秀夫 |

概要／方針等

総合南東北病院は「すべては患者さんのために」の理念のもと、福島県中地区の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。最新機器・設備を駆使した高度先進医療を提供しており、外来患者・救急患者・検査・手術症例数は県内トップクラスの実績を誇っています。さらに、熱心な指導医が多数在籍し、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気があるのも当院の特徴のひとつです。

当院の整形外科では、主に脊椎と四肢関節の変性疾患、スポーツによる障害や疾患、四肢の炎症性疾患などの治療と診断を行っています。外傷センターは平成27年4月に福島県内初として開設され、骨折の診断・手術から術後のリハビリまで一貫した骨折治療を行っています。当センターならではの技術・手法を駆使し、世界にその情報を発信しています。さまざまな現場での経験を通し、臨床力のつく実習を提供します。

学習目標

【一般目標】

市中病院で行われている地域医療・チーム医療の現場を、各科の指導医や研修医、コ・メディカルとともに体験する。

【行動目標】

<整形外科>

1. 患者さんから病歴を聴取し、身体診察を行う。
2. 鑑別診断を考え、補助検査の必要性を理解し、実際に検査をオーダーする。
3. 臨床症状・理学所見・画像診断を含む補助診断をもとに疾患を診断する。
4. 入院患者さんの治療法の適応を検討し、治療法を理解する。
5. 手術などの治療に参加する。
6. 周術期を含めた全身管理の方法を理解する。
7. リハビリテーションを含め、入院患者さんの社会復帰への過程を学ぶ。

<外傷センター>

1. 骨折の診断・治療の流れを把握できるようにする。
2. 骨折の正常な治癒過程を知る。
3. 骨折の合併症に対する理解を深める。
4. 難治骨折の病態・治療について知る。

テキスト 特にありません。

参考書 特にありません。

評価方法 実習態度・レポート提出・指導医や研修医とのディスカッション等により総合的に評価する。

その他(メッセージ等) 原則、各科1週ずつの実習となります。
無料宿舎・実習期間中の食事の無料提供あり。実習前に希望されるか確認します。

実習計画／担当指導医等

【実習計画】

朝開始時刻 8:30(希望があれば、下記にある早朝からの病棟回診・カンファレンス等から参加可能)

※月ー8:30～全体朝礼、水・金ー7:55～全体カンファレンスに参加していただきます。

終了時刻 おおよそ17:30～18:00

<整形外科>

(月)～(金)病棟・手術・外来

* スケジュールは、参加したい手術の希望により調整します。

* 7:30～の病棟回診(水曜日はリハビリ・看護師・ソーシャルワーカーとの合同カンファレンスあり)からの参加も歓迎します。

<外傷センター>

(月)午前ーレントゲンカンファレンス・病棟回診、午後ークルズス

(火)午前ー外来、午後ークルズス

(水)～(木)手術

(金)午前ー手術、午後ー総括

【実習担当指導医】

鹿山 悟／南東北医療クリニック 副院長

竹中 信之／外傷センター 科長

| | |
|----------|---------------------------|
| 病院名・診療科等 | 総合南東北病院(放射線診断科・放射線治療科コース) |
| 担当責任者 | 佐久間 秀夫 |

概要／方針等

総合南東北病院は「すべては患者さんのために」の理念のもと、福島県中地区の中核病院として地域医療・救急医療に貢献しています。最新機器・設備を駆使した高度先進医療を提供しており、外来患者・救急患者・検査・手術症例数は県内トップクラスの実績を誇っています。さらに、熱心な指導医が多数在籍し、各科の垣根が低く相談しやすい雰囲気があるのも当院の特徴のひとつです。
 当院の放射線科は、東北地方で唯一の後期研修基幹病院です。PET-CT4台・MRI6台・CT4台・血管造影3台など、日本有数の充実した画像診断機器を備えています。さまざまな現場での経験を通し、臨床力のつく実習を提供します。

学習目標

【一般目標】

市中病院で行われている地域医療・チーム医療の現場を、各科の指導医や研修医、コ・メディカルとともに体験する。

【行動目標】

＜放射線診断科＞

1. 放射線被ばくの基礎的事項が習得できる。
2. 胸腹部単純エックス線写真で典型的疾患の診断ができる。
3. CTとMRIの特長が理解できる(希望があれば実際に超音波検査やMRI検査を体験する)。
4. PET-CTの特長を理解し、典型的疾患の供覧を受ける。
5. 低侵襲性治療を理解し、模型を用いてカテーテル操作を経験する。

＜放射線治療科＞

がん患者を診察・治療するにあたり、どのような治療法が適しているか多方面から考えることができる。

テキスト 特にありません。

参考書 特にありません。

評価方法 実習態度・レポート提出・指導医や研修医とのディスカッション等により総合的に評価する。

その他(メッセージ等) 原則、各科1週ずつの実習となります。
 無料宿舎・実習期間中の食事の無料提供あり。実習前に希望されるか確認します。

実習計画／担当指導医等

【実習計画】

朝開始時刻 8:30(希望があれば、下記にある早朝からの病棟回診・カンファレンス等から参加可能)

※月－8:30～全体朝礼、水・金－7:55～全体カンファレンスに参加していただきます。

終了時刻 おおよそ17:30～18:00

＜放射線診断科＞

(月)オリエンテーション、神経放射線診断(CT・MRI)

(火)低侵襲性治療実習(IVR)、カテーテル実習

(水)外来実習、画像カンファレンス

(木)紹介画像診断実習(地域画像連携)

(金)実習生によるMRI・超音波画像実習

* 放射線被ばくの実習は、オリエンテーション時に行います。

＜放射線治療科＞

(月)～(木)外来・病棟実習

(金)手術(血管内治療など)

【実習担当指導医】

今井 茂樹／血管内治療研究所 所長

菊池 泰裕／南東北がん陽子線治療センター センター長